

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

このたびは弊社製品をお買い上げくださいますようお願い申し上げます。
 末長くご愛用いただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
 なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

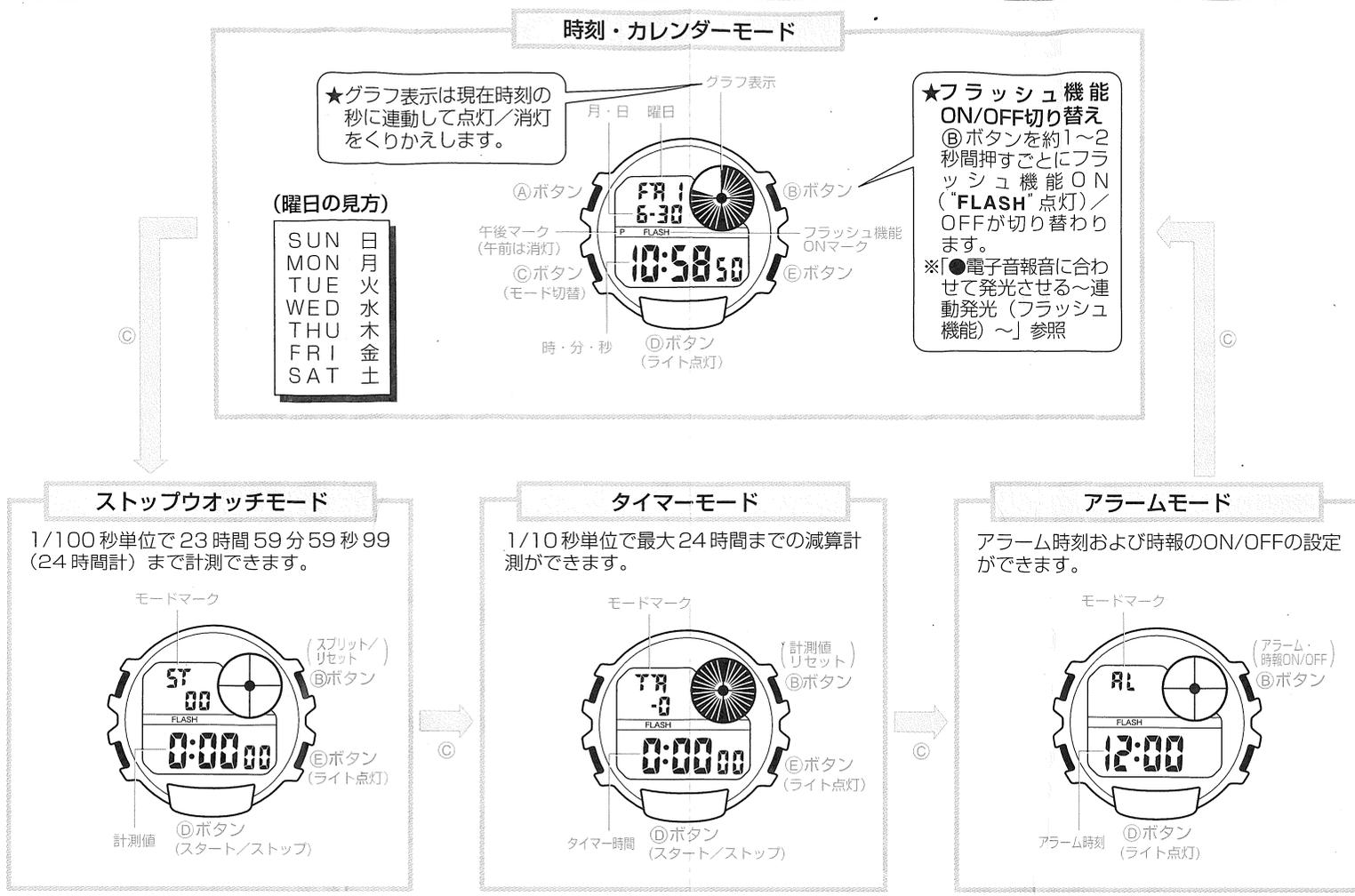
時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。



表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部には EL パネル (エレクトロルミネッセンスパネル) が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、電子音報音に合わせて文字板が発光するフラッシュ機能もあります。

- ボタンを押して発光させる～手動発光～
 - 時刻・カレンダーモード、アラームモードのときは、
 - ① ボタンを押します
 - ストップウォッチモード、タイマーモードのときは、
 - ② ボタンを押します

→文字板にある EL パネルが約2秒間発光します。なお、フラッシュ機能 ON ("FLASH"点灯) のときは約5秒間発光します。
 - 電子音報音に合わせて発光させる～連動発光(フラッシュ機能)～
 フラッシュ機能は、電子音報音のタイミングに合わせて自動的に文字板が発光する機能です。また、フラッシュ機能 ON ("FLASH"点灯) にすると、手動発光での文字板の発光が5秒間になります。
 ※電子音報音(発光)のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。
- 時刻・カレンダーモードのとき
 ② ボタンを約1~2秒間押します
- ② ボタンを約1~2秒間押すごとにフラッシュ機能 ON ("FLASH"点灯) / OFFが切り替わります。
- フラッシュ機能 ON マーク
- ＜EL 発光についての注意事項＞
- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
 - 発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
 - 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■ 秒の合わせ方...30秒以内の遅れ/進みの修正

月に1度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、
 ① ボタンを1~2秒間押します
 →「秒」が点滅します。

(2) 時報に合わせて、② ボタンを押します
 →秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、「00」秒になります。
 ※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3) 秒合わせが終わりましたら、
 ③ ボタンを押して点滅を止めます

※秒(時刻・カレンダー)セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。
 ※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

■ 時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、
 ① ボタンを1~2秒間押します
 →「秒」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ
 ② ボタンを押します
 →② ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順に移動します。

(3) 点滅箇所のセット
 ③ または ④ ボタンを押します
 →③ ボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進み、④ ボタンを押すと1つずつ戻ります。
 ※それぞれ押し続けると数字が早送りします。

(4) セットが終わりましたら、
 ⑤ ボタンを押して点滅を止めます

上記(2)~(3)の操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
 ※12/24時間制切替のときは、② ボタンを押すごとに12時間制「12H」と24時間制「24H」とが切り替わります。
 ※「時」のセットのとき午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。
 ※「年」は1995~2039年までセットできます。
 なお、「年」をセットすると自動的に曜日を表示します。

製品仕様

- 水晶発振周波数:32,768Hz
- 精 度:平均月差±15秒以内
- 基本機能:月・日・曜日・時・分・秒、
 午前/午後(P) / 24時間制表示(24)、
 フルオートカレンダー(1995~2039年)
- ストップウォッチ機能:計測単位=1/100秒
 計測範囲=23時間59分59秒99(24時間計)
 計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、
 1・2着同時計測
- タイマー機能:計測単位=1/10秒 セット単位=1秒
 タイムアップを10秒間の電子音で報知
- アラーム機能:時刻アラーム セット単位=時・分 電子音=20秒間
 時報 毎正時に電子音で報知
- その他:自動復帰機能、12/24時間制表示切替、
 EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト、
 フラッシュ機能、モニターアラーム、
 耐低温仕様(-20℃)
- 主要回路素子:音叉型高性能水晶振動子 ワンチップCMOS-LSI
- 使用電池:CR-2016(電池別途販売)
- 電池寿命:約2年
 (1日あたりライト2秒間(ボタン押し1回)、電子音20秒間使用した場合)
 ※ただし、ライトの使用条件により、電池寿命が短くなる場合があります。
- 1日あたりライト10秒(ボタン押し5回)使用...約19ヶ月
 - 1日あたりライト20秒(ボタン押し10回)使用...約14ヶ月

タイマーの使い方

時刻・カレンダーモードのときに **ⓐ** ボタンを2回押すと、タイマーモードになります。タイマーは、1/10秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

タイマーの使い方

タイマーモードのときに、

ⓐ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

→減算計測は1/10秒単位で行ないます。

★計測ストップ後 **ⓐ** ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。

★ロスタイムがあるときは、減算計測中 **ⓐ** ボタンでストップ後、もう一度 **ⓐ** ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。



タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間*電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

*オートリピートタイマーで、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

※このとき、フラッシュ機能ON ("FLASH" 点灯) にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。(オートリピートタイマーでタイマー時間が10秒以下のときは除く)

タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

●リピードタイマー (繰り返し計測)

タイムアップになるとタイマー時間を表示して、減算計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー (自動繰り返し計測) <グラフ表示点灯>

タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

★タイマー方法の選び方

タイマー時間セットのときに、

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとにグラフ表示が点灯/消灯を繰り返します。

グラフ表示が消灯しているときはリピードタイマー、グラフ表示が点灯しているときはオートリピートタイマーとなります。

<オートリピートタイマー>



鳴っている電子音を止めるには

タイムアップ報知の電子音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、**ⓐ** **ⓑ** **ⓒ** **ⓓ** **ⓔ** ボタンのうち、いずれか1つを押します。

タイマー時間のセット

タイマー時間は「1秒 (0:00 01)」から「24時間 (0:00 00)」まで、1秒単位でセットできます。

(1)タイマーモードのときに、

ⓐ ボタンを1~2秒間押します

→タイマー時間の「時」が点滅します。

(2)セット箇所を選ぶ

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに点滅箇所が「時→分→秒→時…」の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

(3)点滅箇所のセット

ⓑ または **ⓓ** ボタンを押します

→ **ⓑ** ボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進み、**ⓓ** ボタンを押すと1つずつ戻ります。

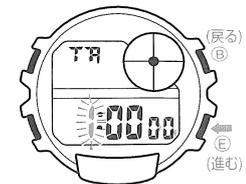
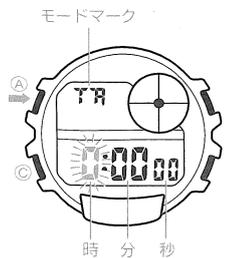
※それぞれ押し続けると早送りします。

★表示が点滅しているときに **ⓐ** ボタンを押すと、タイマー方法 (リピードタイマー/オートリピートタイマー) が選べます。(詳しくは左記「**■**タイマー方法を選ぶ」参照)

(4)セット後、点滅を止めるには、

ⓐ ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。



<リピードタイマー>

アラーム・時報の使い方

時刻・カレンダーモードのときに **ⓐ** ボタンを3回押すと、アラームモードになります。

アラームは時・分を設定できます。セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時 (00分) に時報を鳴らすこともできます。

アラーム・時報を鳴らすには

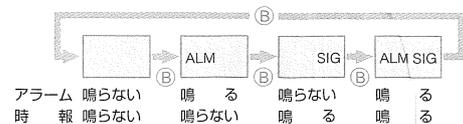
アラームモードのときに、

ⓑ ボタンを押します

→ **ⓑ** ボタンを押すごとに以下の順でアラームON/OFFおよび時報ON/OFFが切り替わります。

※なお、アラーム時刻をセットすると "ALM" が点灯し、自動的にアラームONとなります。

(「**■**アラーム時刻のセット」参照)



アラーム・時報の報知方法

●アラームONのとき

セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

●時報ONのとき

毎正時 (00分) になると、「ピッピッ」と電子音が鳴ります。

※このとき、いずれの場合でも、フラッシュ機能ON ("FLASH" 点灯) にしておくと、電子音の報音に合わせて文字板が発光します。

鳴っている電子音を止めるには

アラーム (時報) 音、およびこのときの文字板の発光を止めるには、**ⓐ** **ⓑ** **ⓒ** **ⓓ** **ⓔ** ボタンのうち、いずれか1つを押します。

モニターアラーム

アラームモードのときに **ⓔ** ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

アラーム時刻のセット

(1)アラームモードのときに、

ⓐ ボタンを1~2秒間押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。

※このとき "ALM" が点灯し、アラームONとなります。

(2)セット箇所を選ぶ

ⓐ ボタンを押します

→ **ⓐ** ボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅します。

(3)点滅箇所のセット

ⓑ または **ⓓ** ボタンを押します

→ **ⓑ** ボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進み、**ⓓ** ボタンを押すと1つずつ戻ります。

※それぞれ押し続けると数字が早送りします。※「時」のセットのとき、12時間制では午前/午後(P)にご注意ください。

※時刻を24時間制にしているときは (24点灯)、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(4)セット後、点滅を止めるには、

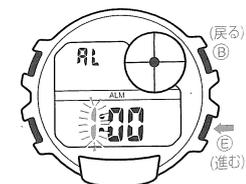
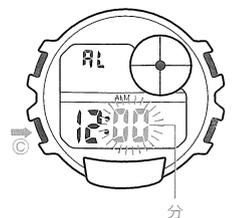
ⓐ ボタンを押します

※セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。



アラーム時刻 時報マーク

<時刻・カレンダーモード>



ストップウォッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに◎ ボタンを1回押すと、ストップウォッチモードになります。
ストップウォッチは23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのときに、

◎ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

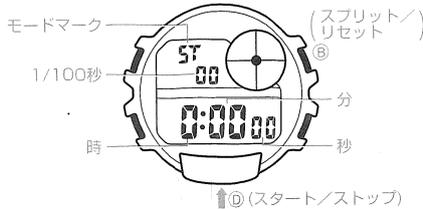
★計測中に◎ ボタンを押すと、スプリット計測となります("SPL"点灯)。もう一度◎ ボタンを押すとスプリットが解除されます。

(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。)

★計測終了後◎ ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

※◎・◎ ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。

<ストップウォッチモード>



● 通常計測



※積算計測…ロスタイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(◎ ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム(途中経過時間)の計測



● 1・2着同時計測



ご使用上の注意

防水性 ● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※ BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※ 専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。

防水構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所での使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

● 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

● 防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なバッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド ● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度 ● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。

● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

● 低温下で使用し、ボタン部分が凍結した場合、ボタン操作ができなくなることがあります。常温に戻ればボタンは正常に作動します。

● 低温下でアラームを使用すると表示が見えにくくなったり、消えたりすることがあります。常温に戻れば正常に作動します。

ショック ● 腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。

● 腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気 ● 磁気の影響はありません。

薬品類 ● 水銀や化学薬品(シンナー、ガンソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管 ● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ お手入れについて

お手入れ ● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

● 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損なわれることがあります。

お手入れ ● 「サビ」を怠ると

● ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。 ※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。

● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

● 「劣化」

● 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

● 「かぶれ」

● 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。

● 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

● 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■ 蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

● 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。

● 長時間、濡れたままにしておくと色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。

● 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。

● プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■ 電池交換について

最初の電池 ● 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※ なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗 ● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ● 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

● 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

■ 液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。